

仕様書

技術戦略研究センター

1. 件名

農林水産・食品分野におけるエネルギー・環境・産業技術の俯瞰分析に関する調査

2. 目的

NEDO 技術戦略研究センターでは、今後の技術戦略の策定に向けた領域の抽出のため、農林水産・食品分野におけるエネルギー・環境及び産業技術の全体を俯瞰する Innovation Outlook (仮称) の策定に取り組むこととしている。農林水産・食品分野は、エネルギー価格・資材高騰、気候変動、人口減少、DX の遅れ等を背景に、持続的な食料生産と供給、GHG 吸収・排出削減、生産性向上等が求められている。

そこで、これらに対応するために農林水産・食品分野に適用されるエネルギー・環境、AI、ロボット技術等の広範な技術（新たに適用の可能性がある技術を含む。）を対象に、国内外の政策、産業・市場動向及び研究開発動向を調査するとともに、併せて GHG 吸収・排出削減効果や生産性向上効果等を評価することにより、今後取り組むべき領域抽出の基礎となる俯瞰分析のための調査を実施する。

3. 内容

農林水産・食品分野の俯瞰分析のため、「2. 目的」を十分に踏まえた情報収集、分析及び評価等の調査業務を実施することとし、原則として以下Ⅰ～Ⅳの項目を含むものとする。また、文献調査やヒアリング等を行い、調査内容や検討内容等についての妥当性を担保すること。

なお、本分野においては俯瞰的な技術分析や新規技術の探索を優先することとし、NEDO が過年度実施した本調査分野に関連する内容は、調査資料を引用し必要に応じた更新を行うこと。

Ⅰ. 農林水産・食品分野における社会課題の整理

社会情勢や市場ニーズの変化等を踏まえ、農林水産・食品分野における社会課題を整理する。なお、社会課題は本調査分野に係る課題を網羅的に収集することに努め、今般の食料・農業・農村基本法の見直しなど政策動向を十分に把握したうえで、解決すべき優先度等も検討すること。

Ⅱ. 社会課題解消に資する解決策の整理

Ⅰの結果を踏まえ、社会課題解消に向けた解決策を抽出し整理する。なお、解決策は技術的解決策に限らず、政策的解決策や社会的解決策など幅広く抽出すること。

Ⅲ. 技術の抽出及び分析・整理

Ⅱで整理した解決策のうち、技術的解決策に係るエネルギー・環境及び産業技術関連の技術を抽出する。抽出した技術について、国内外の政策、産業・市場動向及び研究開発動向等を整理するとともに、中長期的な重要度、発展の可能性等を分析し整理する。なお、分析は今後新たに取り組むべき領域や、重要となる革新的技術の抽出を行うための評価指標を設定すること。評価指標の例として、GHG 吸収・排出削減効果、生産性向上効果、市場創出効果等による評価を提案すること。

なお、評価指標については単一の指標に限定せず、指標の組合せ等により重要度等の分析が変動する可能性を踏まえ試案し、複数の分析結果を NEDO へ提示し協議を行うこと。

Ⅳ. 技術俯瞰の基礎資料の整理

ⅠからⅢで整理した結果を基に、農林水産・食品分野において新たに又は重点的に取り組むべき

領域の抽出や、価値・市場創出に向けた提案の検討を行うにあたっての基礎資料となるべく、技術俯瞰の整理（俯瞰図など）を行う。なお、整理にあたっては、前述する検討に活用するほか、関係者との意見交換において活用することを想定して、網羅的かつ可視化の工夫に努めること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2025 年 3 月 31 日まで

5. 予算額

2,000 万円以内

6. 報告書

提出期限：2025 年 3 月 31 日まで

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。